

令和7年9月10日
(独)家畜改良センター
鳥取牧場業務課

細断型ロールベーラを用いたトウモロコシサイレージ 生産に関する実演研修会を開催しました

家畜改良センター鳥取牧場は、9月9日、鳥取県立農業大学校(以下農大校)において細断型ロールベーラと自走式ラッピングマシンを用いたトウモロコシサイレージ生産に関する実演研修会を開催しました。当研修会は平成19年より年1回実施しており、今年も農大校の要望があり実施することとなりました。

研修会では、初めに当場の担当者より農大校の学生9名を対象にサイレージの調製方法、細断型ラップと他のサイロとの違い等について紹介した後、実際に作業を見学していただきながら、作業を行う上での注意点等について説明を行いました。その後、当場職員の指導の下、畜産専攻の学生を対象に作業を実施いただきました。

参加者を対象としたアンケートの結果では、満足・やや満足の評価が100%となり、一連の作業について、皆さん熱心に学ばれていました。

地域の畜産の担い手に細断型ロールベーラを利用した良質なトウモロコシサイレージ生産の取組について理解を深めてもらうことで、飼料自給率向上の一助となれば幸いです。



研修会の様子



学生による操作体験